

クラウドサービス情報開示認定機関
特定非営利活動法人
ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアム(ASPIC)

「クラウドサービス情報開示認定制度」

- 第41回認定審査委員会を開催(H30.3.15)
- 3サービスを審査・認定
 - 医療情報 ASP・SaaS:テクマトリックス株式会社殿のNOBORI(ノボリ)
 - ASP・SaaS:

株式会社JEMS殿の GENESYS-ECO compliance システムサービス
株式会社インターパーク殿のクラウドサービス サスケ

特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアム (略称:ASPIC、東京都品川区西五反田 7-3-1 会長:河合輝欣)は、安心安全なクラウドサービスの推進のため、平成19年に総務省と合同で「ASP・SaaS 普及促進協議会」を立上げ、この協議会で、セキュリティ対策ガイドラインの策定、ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示指針の策定及び、この指針をもとに、情報開示認定制度の検討、立案を行いました。

この情報開示認定制度により、クラウド事業者からの情報開示が適切に行われていることを認定し、クラウド利用者が認定されたクラウドサービスを比較、評価、選択することができます。
これにより安心安全なクラウドサービスの利用が促進されます。

平成20年4月に「ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」を創設しました。

さらに平成24年9月に「IaaS・PaaS の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」、「データセンターの安全・信頼性に係る情報開示認定制度」を開始しました。

平成29年10月「ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示認定制度の」の高度化として「医療情報 ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」、「特定個人情報 ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」の運用を開始しました。

これらの5つの認定制度を総称して「クラウドサービス情報開示認定制度」と総称します。

ASPIC は、10年にわたり総務省のご指導のもと、情報開示認定制度の普及推進等を行い、安心安全なクラウドサービスの実現を推進してきました。▶別紙1:「クラウドサービス情報開示認定制度創設の経緯」

▶別紙2:「クラウドサービス情報開示認定制度の年表」

このたび、申請があった以下の医療情報 ASP・SaaS サービス、ASP・SaaS サービスにつきまして、認定機関 ASPIC の定める審査基準に適合しており、それぞれ「医療情報 ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示」、「ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示」が適切に行われていることを認定いたしました。

これまでに認定したサービスの総数は 238 件（ASP・SaaS/217 サービス、医療情報 ASP・SaaS/2 サービス、特定個人情報 ASP・SaaS/1 サービス、IaaS・PaaS/12 サービス、データセンター/6 サービス）、165 事業者となります。

なお、認定したサービスにつきましては、利用者が比較、選択等する際の参考に利用いただけるよう、認定機関 ASPIC ホームページに掲載しております。

また、今後も申請があったものから順次、審査を行い、情報開示が適切と判断されるサービスを認定していく予定です。

■医療情報 ASP・SaaS 申請：1 件（1 事業者）

No	サービスの名称	事業者の名称	サービスの概要
1	NOBORI (ノボリ)	テクマトリック 株式会社	レントゲン、CT 画像をはじめとする大容量の医療情報データを、医療機関の外部にあるデータセンターで安全に管理し、必要な時にいつでも参照、共有することができる医療情報保管サービス

■ASP・SaaS 申請：2 件（2 事業者）

No	サービスの名称	事業者の名称	サービスの概要
1	GENESYS-ECO compliance システムサービス	株式会社 J E M S	廃棄物排出事業者の廃棄物のコンプライアンス管理と効率化を支援するシステムで、産業廃棄物マニフェスト作成時、収集運搬業者・処分業者の許可証及び委託契約書を照合し廃掃法に準拠したマニフェストを発行できるサービス
2	クラウドサービス サスケ	株式会社インター パーク	見込み顧客を顧客へと育てるリードナーチャリングに特化した顧客管理・営業支援システムで、多様な見込み顧客情報を独自のデータマージ技術で一元管理、データ分析機能やオンライン/オフライン施策支援機能等を使用できるサービス

注 1：認定の有効期間は、認定の日から 2 年間です。

注 2：「サービスの概要」の記述内容は、申請に基づき認定機関で編集したものです。

1. ASPIC の活動について

ASPIC は平成 11 年創立以来、ASP・SaaS・クラウドの普及促進と安心安全なクラウドサービスの推進に取り組んできました。特に安心安全については、総務省と合同、連携して設立した「ASP・SaaS 普及促進協議会」及び「ASP・SaaS データセンター促進協議会」で、クラウド化に関するセキュリティガイドライン、情報開示指針、情報の公開二次利用のガイドライン等、25 件のクラウドサービスに関するガイドラインを策定してきました。

これらの活動に対して、総務大臣表彰を、平成 20 年に ASPIC が団体として、平成 24 年に ASPIC 会長の河合が個人として受賞しました。●別紙 3：「ASPIC の沿革」

2. クラウドサービスの安全・信頼性に係る情報開示認定制度



5つの制度を総称して「クラウドサービスの安全・信頼性に係る情報開示認定制度」といいます。

3. 本件連絡先（申請受付窓口）

クラウドサービス情報開示認定機関

特定非営利活動法人 ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアム (ASPIC)

クラウドサービス安全・信頼性情報開示認定制度事務局（担当：谷合・池田・国松）

〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-3-1 たつみビル 2F

TEL：03-6662-6854 Fax：03-6662-6347

mail：aspic@cloud-nintei.org

認定サイト：<http://www.cloud-nintei.org/>

別紙 1

ークラウドサービス情報開示認定制度の創設の経緯ー

ASPIC は、安心安全なクラウドサービスの推進のため、平成 19 年から総務省と合同、連携した協議会を立上げ、セキュリティ対策ガイドラインの策定、情報開示指針の策定、情報開示認定制度の企画、創設、普及推進等を 10 年にわたり行ってきました。

1. 平成 19 年に総務省、ASPIC で共同研究を行い、「安全・信頼性指針の策定と情報開示認定制度を官民で検討すること」を取りまとめました。
「ASP・SaaS の普及促進策に関する調査研究」（H19 年 総務省、ASPIC ）
2. 平成 19 年に共同研究の成果を推進するために、総務省と ASPIC が合同で「ASP・SaaS 普及促進協議会」（会長：慶應義塾大学教授 徳田英幸）を設立し、協議会の安全・信頼性委員会で ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示指針(注)の策定（H19 年 11 月 総務省公表）、ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示認定制度の検討・立案を行いました。
（注）この情報開示指針は、下記の ASP・SaaS 情報セキュリティ対策ガイドラインを基にして、利用者が ASP・SaaS サービスを選択、評価するに必要な情報開示の指針である。
3. 平成 20 年に安心安全な ASP・SaaS サービスを実現するため、「ASP・SaaS 情報セキュリティ対策ガイドライン」（H20 年 1 月 総務省公表）の策定の協力を行いました。
4. 平成 20 年 4 月に「ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」を創設し、認定機関 FMMC、認定事務局 ASPICとして連携して、運営を開始しました。
5. 平成 21 年には総務省と ASPIC 連携で「ASP・SaaS データセンター促進協議会」（会長：慶應義塾大学教授 村井 純）を設立し、「IaaS・PaaS の安全・信頼性に係る情報開示指針」及び「データセンターの安全・信頼性に係る情報開示指針」の策定（H21 年 2 月、H23 年 12 月 総務省公表）、並びに情報開示認定制度の検討、立案を行いました。
6. 上記の指針に基づき、平成 24 年 9 月、「IaaS・PaaS の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」及び「データセンターの安全・信頼性に係る情報開示認定制度」を創設し、「ASP・SaaS の安全・信頼性に係る認定制度」と合わせて「クラウドサービスの安全・信頼性に係る情報開示認定制度」と総称し、推進してきました。
7. 平成 29 年 10 月、情報開示認定機関が FMMC から ASPIC へ移管
8. 「ASP・SaaS 普及促進協議会」で「ASP・SaaS（医療情報取扱いサービス）情報開示指針」、「ASP・SaaS（特定個人情報取扱いサービス）情報開示指針」の策定（H29 年 3 月 総務省公表）、並びに情報開示認定制度の検討、立案を行い、新たな認定制度として平成 29 年 10 月に「医療情報 ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」及び「特定個人情報 ASP・SaaS の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」を創設しました。

別紙 2

ークラウドサービス情報開示認定制度の年表ー

- H19年4月 「ASP・SaaSの普及促進に関する調査研究」
4月 「ASP・SaaS普及促進協議会」設立（総務省公表）
6月 「ICT生産性加速プログラム」総務大臣発表
11月 「ASP・SaaS情報開示指針」公表（総務省）
12月 「ASP・SaaS情報開示認定制度」の検討
- H20年1月 「ASP・SaaSにおける情報セキュリティ対策ガイドライン」公表（総務省）
4月 「ASP・SaaS情報開示認定制度」開始（認定機関FMMC）
6月 ASPICが団体として総務大臣表彰を受賞
(安全・信頼性に係る情報開示指針の策定に対する貢献)
- H21年2月 「データセンター情報開示指針」公表（総務省）
2月 「ASP・SaaSデータセンター促進協議会」設立
- H22年～23年 「データセンター情報開示認定制度」の検討
- H23年12月 「データセンター情報開示指針」改定（総務省）
12月 「IaaS・PaaS情報開示指針」公表（総務省）
12月 「IaaS・PaaS情報開示認定制度」、「データセンター情報開示認定制度」の検討
- H24年6月 河合会長が個人として総務大臣表彰を受賞
(分野毎の事業者向けガイドラインの策定に対する貢献)
9月 「IaaS・PaaS情報開示認定制度、データセンター情報開示認定制度」開始
(ASP・SaaSと合わせてクラウドサービス情報開示認定制度と総称)
- H28年3月 情報開示認定制度高度化の推進の検討
- H29年3月 「ASP・SaaS（医療情報取扱いサービス）情報開示指針」及び
「ASP・SaaS（特定個人情報取扱いサービス）情報開示指針」公表（総務省）
10月 情報開示認定機関がFMMCからASPICへ移管
10月 「医療情報ASP・SaaS」、「特定個人情報ASP・SaaS」に係る情報開示認定制度の新設

— ASPIC の沿革 —

平成 11 年 11 月	任意団体「ASP インダストリ・コンソーシアム・ジャパン」創立
平成 14 年 2 月	特定非営利活動法人（NPO）の認証取得
平成 15 年 4 月	「ASP 白書 2003 年版」作成・出版
平成 18 年 5 月	「ASP・SaaS イノベーションシンポジウム」開催
平成 19 年 2 月	国内初「ASP・SaaS・クラウドアワード」制定・表彰式開催
平成 19 年 4 月	総務省と合同で「ASP・SaaS・クラウド普及促進協議会」設立
平成 20 年 3 月	団体名を「ASP・SaaS インダストリ・コンソーシアム」に改称
平成 20 年 4 月	「ASP・SaaS 情報開示認定制度」開始（認定機関 FMMC、認定事務局 ASPIC）
平成 20 年 6 月	ASPIC が「総務大臣表彰」を受賞
平成 21 年 2 月	「ASP・SaaS データセンター促進協議会」設立
平成 21 年 9 月	「ASP・SaaS 白書 2009/2010」作成・出版
平成 23 年 9 月	団体名を「ASP・SaaS クラウドコンソーシアム」に改称
平成 24 年 6 月	河合 ASPIC 会長が「総務大臣表彰」を受賞
平成 24 年 9 月	「クラウド情報開示認定制度」開始（認定機関 FMMC、認定事務局 ASPIC）
平成 27 年 10 月	「ASPIC クラウドアワード」に「総務大臣賞」創設
平成 27 年 10 月	「ASPIC 15 年誌」発刊
平成 28 年 12 月	団体名を「ASP・SaaS・IOT クラウドコンソーシアム」に改称
平成 29 年 10 月	クラウド情報開示認定制度の認定機関が FMMC から ASPIC に移管
平成 29 年 10 月	「医療情報 ASP・SaaS 情報開示認定制度」、「特定個人情報 ASP・SaaS 情報開示認定制度」開始